

Tsuyama chuo hospital nursing department 津山中央病院 看護部



お知らせ

部署目標成果発表会開催

3月14日(木)に平成24年度部署目標成果発表会を開催します。例年同様1位～3位の表彰を行いますので、各部署、素晴らしい成果報告をしていただけることを期待しています。頑張ってください。

花王と共同制作したオムツeラーニングが完成間近ですので、可能であれば試写会を実施する予定です。ご参加下さい。

病院機能評価 更新確定



平成24年10月4日(木)～6日(土)の3日間に亘って行われました病院機能評価ver.6.0の受審で、3回目の更新が確定されました。看護部の皆さんには多忙な業務の中、ご協力をいただきありがとうございます。今後も医療の質向上を目指し、患者様に選ばれる病院づくりを一人一人が自覚し、一丸となって医療改善に取り組んでいきましょう。

～今月のTOPICS～

第9回医療安全取り組み(QC活動)成果発表会

2月8日(金)第9回医療安全取り組み成果発表会が開催されました。結果は下記のとおりでした。受賞された部署の皆さん、おめでとうございます。



1位 理事長賞 5階西病棟

【術前の口腔ケア、セルフケア指導に対するスタッフの意識改革】

2位 院長賞 入退院支援センター

【入退院支援～職員満足・地域満足・患者満足を目指して～】

3位 GRM賞 医局

【褥瘡新規発生率を下げる取り組み】

「今回、術前の口腔ケアに対するスタッフの意識改革を行うことで術後合併症の予防、在院日数の短縮、患者満足度の向上につなげたいと取り組んだ。その結果1. スタッフ全員が術前から一貫した口腔ケアの指導・実践ができた。2. 患者自身の口腔ケアに対する意識づけになった。3. 他部門と協力、連携を図ることで、早期より口腔内の清潔を保つことができ、看護スタッフだけではケアが不十分な部分を補うことができた。4. 術後合併症の予防につながり、看護の質の向上のみならず、チーム医療の促進、ひいては患者満足にもつながった。」

この度「理事長賞」という名誉ある賞をいただきスタッフ一同大変光栄に思うと同時に今後も継続した活動に一層取り組まなければと身の引き締まる思いをしています。

1位 5階西病棟 小坂 寿江 野上 京子



日本医療マネジメント学会 第12回岡山県支部学術集会



【ポスター発表】

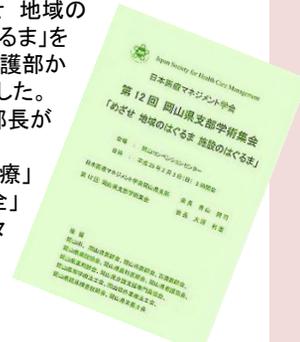
- 1.脳低体温療法
クリティカルパス
救命救急センター
島田 由香里
- 2.CPAクリティカルパス
救命救急センター
竹本 真由美

【一般演題発表】

オムツの適正使用教育の可視化を試みて～e-learningを活用した職員教育～
看護統括部 山本 千春

2月3日(日)、岡山コンベンションセンターにて日本医療マネジメント学会、第12回岡山県支部学術集会が「めざせ 地域のはぐるま 施設のはぐるま」をテーマに開催され、看護部からは3名が発表致しました。また、安藤統括看護部長が座長を務めました。

「地域連携」「チーム医療」「医療の質」「医療安全」「患者サービス」など様々な立場からの発表が行われました。



看護研究発表会

2月7日(木)に平成24年度看護研究発表会が開催されました。講評には岡山大学大学院保健学研究科看護学分野 秋元典子教授をお迎えして、各部署の研究者が1年間の成果について発表しました。今年度の研究についての講演テーマは「効果的なプレゼンテーション」でしたが、その講演内容がしっかりとプレゼンテーションに反映されていると秋元先生からもお褒めの言葉をいただきました。

今回の研究成果を全国学会等に発表できるように頑張ってくれることを期待しております。

看護部長 安藤 佐記子



- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 転倒・転落に対する意識付け～その原因と予防策～ 2. 看護師の性差に対する患者意識の調査 3. 褥瘡未治癒患者の継続看護～ポジショニング方法の視覚化を通して～ 4. 皮膚疾患患者の正しい病状把握に対するヒト型表使用の有効性 5. 患児の年齢別にみたプレパレーションの効果 6. 術前オリエンテーションに対する患者の理解 7. 全身麻酔下での術後の早期離床に関する調査
～全身麻酔下で手術を受けた患者に焦点をあてて～ 8. 心臓血管外科術前患者の歯科受診の現状と口腔内衛生状態の調査 9. 口腔ケアの時間を確保して、患者の口腔ケア実施率の向上を目指す 10. 呼吸不全患児に対して行った体位ドレナージの有用性の検討 | <p>4階西病棟(中井・荒木・田中)
4階東病棟(橋本・谷川)
3階東病棟(小田・綾部)
N1病棟(河田・三上)
3階西病棟(國司・梶原)
5階西病棟(石田・角南)</p> <p>5階東病棟(杉山・苦田)
6階東病棟(二宮・影山)
6階西病棟(清水・柴田)
救命救急センター(川久保)</p> |
|--|--|

リンパ浮腫治療士

全国でリンパ浮腫の患者さんは10万人以上といわれていますが、適切な治療とケアを受けられずに重症化している例も少なくありません。リンパ浮腫という病名や病態が、一般的に知られていないことや、リンパ浮腫診療に精通している医師や医療機関が少ないこと、治療に必要な手技や医療材料に対する保険償還が十分ではないこと、などに加えて、リンパ浮腫治療の一つである複合的理学療法を行う療法士の少ないことが原因と考えられています。

今回、日本リンパ学会・脈管学会・日本血管外科学会・日本静脈学会などにより、複合的理学療法を中心にリンパ浮腫の診療に従事するに必要な専門知識・技術・水準を持った専門家として平成24年にリンパ浮腫療法士(LT)という認定資格が制定格が制定されました。私は数年前にMLAJ認定セラピストになりましたが、今回このような資格が制定されるということで受験し認定をいただくことができました。これからリンパ浮腫で悩んでいる患者さん、ターミナルの患者さんなど、リンパ浮腫の軽減を必要とする多くの患者さんに、関わっていきたく思います。



外来看護師 大谷 孝代

委員会報告会

2月22日(金)に平成24年度各委員会報告会が開催されました。日頃あまり知ることのない14の委員会の報告を聞くことで、各委員会の役割・活動内容を知る貴重な機会となりました。

**そうじゃ吉備路マラソン
ハーフマラソン女子B部門にて
6階東病棟 林 史江さん 2位
おめでとうございます！**

2月24日(日)中四国最大規模のマラソン大会「そうじゃ吉備路マラソン」が開催され、過去最多参加者1万7506人の中、当院 6階東病棟 林 史江さんがハーフマラソン女子B部門で2位に入賞しました。



昨年よりも高い表彰台を目指しレースに臨みました。目標タイムには届きませんでしたが順位、タイム共に更新する事が出来ました。更に練習し色々な大会を楽しみたいです。

表彰台の林さん



6階東病棟 林 史江